

科学技術政策局（OSTP）、デジタル通信ネットワーク信頼性確保に向けたロードマップ発表
（12月6日）

科学技術政策局（Office of Science and Technology Policy : OSTP）は、デジタル通信ネットワークの長期的信頼性確保のためのロードマップ、「信頼できるサイバースペース ～連邦サイバーセキュリティ研究開発プログラム戦略計画～（Trustworthy Cyberspace: Strategic Plan for the Federal Cybersecurity Research and Development Program）」を発表した。オバマ大統領は、デジタル通信ネットワークの信頼性が米国の経済成長や競争力強化にとって持つ重要性が高まってきたことを受け、政府のサイバースペース政策に関する再検討を行うよう求めており、これを受けてまとめられた大統領府報告書「サイバースペース政策レビュー（Cyberspace Policy Review）」では、サイバースペースをより安全かつ信頼性の高いものにすべく、サイバーセキュリティ研究に関する優先事項を明確にするよう連邦政府機関に提言していた。今回発表された「信頼できるサイバースペース」は、この求めに応じて発表されたもので、①現在サイバーセキュリティが抱える欠陥の原因究明に必要な画期的な変化の促進、②科学関連基盤構築によるサイバーセキュリティ問題の最小化、③連邦機関間での研究活動の協調・統合、④研究結果の迅速な実用化、の4点を優先戦略として挙げている。

なお、本ロードマップは

<http://www.whitehouse.gov/sites/default/files/microsites/ostp/fed_cybersecurity_rd_strategic_plan_2011.pdf>からダウンロード可能。

Office of Science and Technology Policy, The White House, *Federal Cybersecurity R&D Strategic Plan Released*

<http://www.whitehouse.gov/blog/2011/12/06/federal-cybersecurity-rd-strategic-plan-released>